



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」
～経営を極めていく企業家集団 会勢730名を達成しよう～

中同協 第49回 定時総会 開催!!

日時：7月6・7日(木・金) 会場：名古屋国際会議場

第1分科会

世界を見据え、地域に生きる

～中小企業と同友会の強みを活かして～

京都大学大学院経済学研究科 教授 **岡田 知弘 氏**

副代表理事 **金井 政春**

第1分科会に参加しました。全分科会の中でも2～3番目に人気のあった分科会だそうで参加者も140名を超える熱気溢れる会場でした。

私の会社は小規模で世界情勢を見据えての経営はしていませんし、世界情勢にはほぼ無関係ではありますが、世界の動き、日本の動きに一抹の不安を感じ、初老の常識を身に付ける為に参加してまいりました。

アメリカはトランプ政権誕生により「米国第一主義」を主張し「孤立主義」と「保護主義」をかかげ自国の繁栄第一主義の政策が目立ちます。

また、イギリスのEU離脱に伴うヨーロッパ各国での反EUへの動き、中東問題、北朝鮮の核開発の脅威、それに伴うアメリカ、中国、ロシア、日本の関係等不安は日増しに強くなります。しかし、私達は世界情勢については注視し被害を最小限に留める事しかできないとの報告でした。

次に日本の情勢について報告がありました。実質国内総生産(GDP)成長率は1%ですが、先進国の中でも際立った低成長になっている。雇用面を見ると、



(写真は第18分科会)

完全失業率は低水準で推移しているが非正規社員は約4割を占めている。雇用者報酬は増えたものの、所得税や社会保険料の負担も増加したため、可処分所得は増えてない。その事が個人消費低迷の原因である。大企業の2015年度の内部留保は前年度を13.5兆円上回る313兆円と4年連続で過去最高を更新した。日本経済が足踏みを続けている原因は、労働生産性や企業の業績の伸びに比べて賃金の伸びがないことなど、再分配システムが十分に機能していないことが原因ではないか。その様ななか2016年に休廃業・解散した企業数は29,583件(前年比8.2%増)で過去最多を更新。企業倒産は8,446件(前年比4.1%)と8年連続で減少しています。結果「業績の先行き不透明感に加え、経営者の高齢化と事業承継の難

目次

中同協 第49回 定時総会 参加報告	1	会員活躍	13
7月例会報告	3	事務局企業訪問	14
中同協 第1回 幹事会 参加報告	9	入会・復会会員紹介	15
九州・沖縄ブロック 代表理事・事務局長の研修交流会 参加報告	10	9月例会案内	17
経営指針実践セミナー(全8回の1回目) 開催報告	11	理事会議事録 抜粋	17
第3期生 第1回 新入社員フォローアップ研修 開催報告	12	会員動向・会員数	18
(株)佐世保福祉(佐世保支部 綿川 淳子会員)経営計画発表会 参加報告	12		

しさが休業・解散の背景にある」との報告がありました。

その他にも採用難、働き方改革、金融再編・統合、人口減少・一極集中、多発する自然災害等の課題についても報告があり、かなり気持ちが落ち込み気味にな

りました。しかし、私には同友会の仲間がいます。活動に積極的に参加し三つの同友会理念の実践に取り組むことが、自社を発展させ地域を活性化することにつながる。企業良し、同友会良し、地域良しの三方良しを目指す心意気を新たにしました。

第8分科会

共に生きる環境を創る経営者の責任

～中小企業だからこその取り組み～

(株)上野商事 代表取締役 兵庫同友会

上野 一人 氏

(有)奥進システム 代表取締役 大阪同友会

奥脇 学 氏

佐世保支部 村山 隆之

兵庫同友会の上野さんは、貸しおしほりを中心にした事業、大阪同友会の奥脇さんは、業務管理システム開発、ホームページ作成等の事業です。障がい者と呼ぶのではなく、障がいを持った方と呼ぶ。特別扱いするのではなく、障害があっても各自の持ち味とした部分を発揮してもらう。お二人の障がい者雇用に対する経験に基づいたお話でした。

私たちのグループは、身内に障がい者を持つ会員が数名いたため詳しい雇用内容が聞けました。仕事の出来る能力とは？試していきながら能力は育てていくも

の。職場環境を変えながら一人一人何ができるか見つけながら育てていく。それが身につく力、生きていく力である。

座長のまとめとして、経営者が障がいを持った方を雇用するに当たっての大切な3点を述べられました。①生活する上での柱となる「収入」②保険保障的な「セーフティーネット」③被雇用者の「社会的自己実現のための参画」の援助。この3点をつくり守り続けるのが社長の役目である。

障害者問題として難しい分野でありましたが、私自身今年4月1日から「社会福祉法人むすび会」の理事長に就任したこともあり、この障害者問題の第8分科会を選びました。また縁あって前会長の鋤柄さんの歓送会にも参加でき、これまで中小企業家同友会を支えてこられた多くの先輩会員の生の苦労話を聞くことが出来、本当に有意義な総会でありました。少しでも次の世代につなぐ会員になれるよう励まねばと感じた総会でありました。

第18分科会

組織強化のカギは自主運営！

～1つ1つの実績の積み上げが活力ある同友会をつくる～

白山陶器(株) 代表取締役 長崎同友会

松尾 慶一 氏

(有)ワイエヌコンサル 代表取締役 長崎同友会

横田 耕詞 氏

座長

(株)広告のアクセス 代表取締役 長崎同友会

山領 進 氏

事務局次長 峰 圭太

今回の定時総会は松尾代表理事と横田島原支部長が報告を、佐世保支部山領さんが座長を務める第18分科会の記録として参加させていただきました。「同友会づくり」をテーマとしたお二人の報告は「何のための会なのか、誰のための会なのか」を参加者に問う内容でした。グループディスカッションのテーマに掲げた「あなた自身、どのように関わるか」に表されたように一人ひとりが運動の主体者意識を持つきっかけにつながったと思います。

グループディスカッションでは他県の自主運営のあり方、事務局の関わり方の事例などを共有でき、あらためて長崎同友会の歴史や自主運営の大切さを再認識することができました。



懇親パーティー、二次会では長崎の会員さんはもちろん、他県の会員さんとも交流でき同友会のつながりの素晴らしさも再確認させていただきました。

今回の総会では長年会長としてご尽力された鋤柄さんに代わり、広浜さんが会長へ、新幹事長に福岡同友会の中山さんが就任されました。新しい雰囲気になり今後の全国の同友会運動がますます活性化し、長崎同友会も分科会で代表理事の松尾さんが報告された「日本一元気な同友会」を目指して運動を進めて行きたいと思います。

事務局という仕事を通して様々な全国大会や幹事会、交流会に参加させていただきますが、やはり長崎だけでは得られない出会いや見識、情報が全国の場に

は溢れています。参加させていただくからには必ず何かを持ち帰り、提案することが事務局理念でもある「会員企業・地域の発展のための行動」のヒントであると思っています。2019年長崎での全研開催を見据え、

今後の全国大会に長崎の会員の方が参加されるケースも増えていくと思いますが、その際には会員の方より多くの学びを持ち帰り提案、実践につなげていきたいと思っています。

長崎浦上支部 例会報告

日 時	7月18日(火) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール アストピア
テ ー マ	窮地からの会社づくり、同友会の学びと実践 ～多くの苦難を乗り越えて学びの大切さを知る～
報 告 者	(株)長崎地研 代表取締役社長 村山 隆之 会員(佐世保支部)



村山さんは、二度の心臓手術を経験し、身体的にも大変な中、「会社を変えるには自分自身から」という同友会での学びを実践し、6年間真っ先に出勤し、玄関・トイレ・車1台の清掃を行ってきたそうです。その結果、誰1人清掃しなかった会社が、誰もが清掃する会社へと変貌するといったどこかのテレビ番組ではないですが、ビフォーアフターを遂げたとのことでした。

そのバイタリティが、何度も経営計画発表会を行うという原動力になっていると感じました。

また、今回の例会で、出席者の心に響いたと思われる言葉がいくつかありました。

「経営者には社員の生活を守る義務がある」

「職場に不平不満がある社員はやめる権利がある」

「会社不平不満がある社員が増え続ければ、会社は



奈落の底に落ちていく」等々です。私はその中でも2番目と3番目の言葉に、特に共感を覚えました。やめたいと思っている社員を引き留めるために理念を曲げるわけにはいかないし、同じベクトルを向かない社員が増えれば、舵取りができない。このことを改めて考えさせられる例会となりました。

そして、懇親会におきまして、今回の学びを実行に移そうという事で、支部長の吉澤さんが、「経営計画発表会をやります!」と宣言されました。また、新しい仲間も増え、長崎浦上支部がますます盛り上がるよう、皆で頑張っていきたいと思っています。

(文責 西本 俊昭)

長崎出島支部 例会報告

日 時	7月26日(水) 18:00～20:30
会 場	サンプリエール
テ ー マ	障がい者の新しい働き方・関わり方
報 告 者	(同)虹いろのたね アトリエらぼ 代表社員 竹山 清美 会員

竹山さんとは、3年ほど前に出会い、その時から障がい者雇用への思いを伺っていました。今回、その思いを報告という形でお願いしました。そして、私自身、初めての座長も務めさせていただきました。

アトリエらぼ開所後は、思うように利用者さんが集まらず、苦勞したそうですが、オリジナリティを活かしたパンフレットを配るなど、地道な活動や、



企業からの委託などで売り上げを順調に伸ばしていかれました。

アトリエらぼとは心の通い合う仲間という意味があるそうです。何か迷った時は、必ずこの名称の意味に戻るそうです。企業理念に近いものだと感じました。



アトリエらぼの商品は、「支援のためではなく、気に入ったから買いたいと思われる商品づくり」が基本です。実際手に取ると、デザインの良い商品に心を奪われ、雑貨店にもないような温かみも感じます。

施設外就労にも力をいれており、雇用ではなく、企業からの委託で作業をしてもらうことで、企業側も障がい者の受け入れをしやすくなるというメリットを活かされています。雇用ではなく、まずは施設外就労から関わりをもってもらおうと竹山さんは考えています。洗車サービスの事業展開など、常に新しい事へ挑戦し続けている姿勢にも、経営者として学ぶべきことであると感じました。

社会福祉士という立場から、専門的な知識も持って



おられ、私自身知らなかった支援の部分も教えていただきました。障がいがあるなしに関係なく、一緒にスポーツを楽しんだり、当たり前前の生活を送れるようなサポートもされています。このような地道な活動がやがて大きなものになっていくのだろうと感じます。

障がい者雇用に関する同じ思いの中、このような報告をうけ、私自身も新しい形でもっとできる事はないか考えるいい機会になりました。

(文責 菅原 千代枝)

大村支部 例会報告

日 時	7月20日(木) 18:30～21:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	官×民×創×論(カンミンソウロン)2017 ～大村の未来は私たちの手の中に～
報 告 者	大村市長 園田 裕史 氏 大村市産業支援センター長 若杉 誠司 氏



同友会会員60名、オブザーバー40名総勢100名を超える参加者のなか今年で2回目となる「官×民×創×論2017」～大村の未来は私たちの手の中に～が行われました。

園田市長・若杉センター長より7月3日に開設された大村市産業支援センターの役割についてご説明いただきました。開設には大村支部も深くかかわっており、



2009年大村支部例会に松本崇前大村市長を報告者として招き中小企業活性化について議論したことが始まりです。

その後中小企業振興基本条例制定要望書の提出、大村市中小企業振興基本条例制定推進協議会の設置から振興条例の策定・承認を経て園田新市長のリーダーシップにより念願の産業支援センターの設置が決まりました。振り返ってみると2011年経営フォーラムにてf-Biz小出センター長の記念講演があったことも大きな縁ではなかったでしょうか。

産業支援センターは開設3週間で既に50件の相談があり、お盆まで予約が埋まっている状況で、「金を出さず知恵を出す。企業の強みと経営者の思いを汲み

上げ大村から九州・全国・世界へと出て行けるように支援していきたい」と意気込みを述べられました。

パネルディスカッションでは大村(地方都市)はチャレンジしたい人が沢山おり面白く熱い場所である。殆どの企業が直面している人材不足については、行きたい町・働きたい町・住みたい町のイメージを付けることで流出した若者が戻ってきたくなるまちづくり。合わせて女性・シニア・障がい者・外国人雇用なども視野に入れていく。人材育成では、常に数字を意識した仕事。起業家精神を持った社員を育てることが必要であり実体験が人を育てる。新商品開発では異業種の観点から新しいサービスや商品が生まれ可能性があり常識にとらわれない発想で物事を考える。その為にも普段会わない人と数多く会い結びつきを大事にする…など未来に向けてのヒントを数多くいただきました。また、行政がまちを良くしたい、中小企業を良くしたいという思いを聞き、多くの経営者が議論を交わすことで今例会の趣旨である官と民が距離を近くし双



方の協力があってこそ企業と地域は活性化できると思えた例会でした。

最後に長らくの念願がかなって誕生した産業支援センターです。我々は、恵まれた環境にあることに感謝し積極的に活用しましょう。

(文責 大塚 正一)

諫早支部 例会報告

日 時	7月19日(水) 18:30～21:00
会 場	四季の蔵 食楽亭
テ ー マ	ダイバーシティって何?? ～障がい者雇用から気付いたダイバーシティの必要性～
報 告 者	(有)菅原産業 取締役 菅原 千代枝 会員 (県ダイバーシティ委員長・長崎出島支部)



菅原さんは、人手不足のためハローワークでの一般募集をかけたところ、障がい者就労支援施設からの問い合わせがあり、実習生として試用、その実習での働きぶりがこれまでの価値観を見直す契機になり、初めて障がいを持つ方を雇用するに至ったそうです。

その後、障がい者の労働力をもっと評価されるべきだとの気持ちから同友会に入会され、障がい者雇用に取り組む会員から大きな刺激を得たと報告されました。



会社は家族のようなものとおっしゃって、障がいを持つ社員さんに対しては、結婚や免許取得に際して、時には親のような気持ちで見守ったり反対したり、また、あわや傷害事件に発展するような出来事から、それに至った原因を考えて施設・家庭との連携をとって働きやすい環境づくりに努めたりと、様々なことを経験されています。障がいを理解し、コミュニケーションをしっかりとることで障がい者雇用に関する懸念は解消でき、反面、高い集中力をもって仕事をしてくれるものと評価できるとして障がい者雇用を推進されていました。

障がい者雇用はやや壁が高いように感じていらっしゃる方が大半ではないかと思います。しかし、菅原さんのお話を聞いて、その人の性格を理解し、それに合わせてコミュニケーションをとることや、能力に応じて適材適所に配置することは障がいを持つ方もそうでない方も変わらない事だと感じました。

今回は障がい者雇用の事例でしたが、ダイバーシティの理念や社会構造の変化を考えると、自分がどこ

までを他者の個性として捉えて評価できるか、主体の問題であって自分自身の認識を改める必要があることを改めて認識しました。本当にどうもありがとうございます

いました。

(文責 田中 幸実)

島原支部 例会報告

日 時	7月27日(木) 19:00～21:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	創業70年、我が社の歴史を振り返る ～世の中の変化に負けない企業をめざして～
報 告 者	(資)南陽商会 専務 三田 茂樹 会員



島原支部立ち上げからの会員の三田さんの報告でした。

会社は1947年創業の老舗、島原でダスキンの商品事業及びカーブス事業をされています。

戦後直後、激動の時代に創業した義父の話から始まり、三田さんの入社に至るまでの経緯が話されました。また、同族経営での確執やトラブルについても話され、皆真剣に聞き入っていました。

創業して70年の長い道のりで、ダスキンの出会い、カーブス事業との出会い、良いときもあれば悪いこともあったなかで、どのようにすれば生き残れる強い会社でいられるかの熱い思いをこめての発表に皆心打たれておりました。



グループディスカッションでは、県の例会委員会の会員を交え、自身の会社がどのように世の中の変化に対応できるかを話し合い、これからの自身の会社のあり方について考えました。

懇親会では新入会員のバッジ贈呈があり、新たな仲間が増え、ゲスト参加の方からも入会の申し出があり、新しい風が島原支部に入ってきました。

今回の例会もこれからの社会で、自分の会社がどのように生きて行けばいいかを考える学び多い例会となりました。

(文責 石松 稔朗)

佐世保支部 例会報告

日 時	7月21日(金) 18:30～21:00
会 場	アルカス佐世保 3F 大会議室
テ ー マ	1ターン司法書士の挑戦!! ～愛する地元を働きやすく・住みやすく～
報 告 者	司法書士くらしな事務所 代表者 倉科 聡一郎 会員

倉科さんは横浜出身ですが、長崎で仕事をする！と決意されたそうです。司法書士は、都会で仕事をする

人が多く、地方への移住者には、補助金が出る事も倉科さんにとっては移住の理由にもなったそうですが、それ以外にも幼少時に親戚の方が長崎県下にて、遊びに来ていた事で長崎県の印象もよく、最終的な決断になったそうです。

また、司法書士試験に合格する前には、ヨーロッパやアフリカ等を旅行された経験が、自身の多様性を開花させてくれ、都会ではなく田舎の良さを認識できるようになったと言われていました。

私は佐世保から出たことがなく、田舎の良さは分か



らなかったのですが、倉科さん曰く人が優しい、低コストで住める、食事や空気がおいしい、つながりが強い、視野が広がった（自分の仕事以外の事が経験できる）等の報告があり、私も改めて田舎の良さを知ることが出来ました。

また同友会には、代表理事の松尾さんを通じて入会され、会に参加する毎に、自身の経営の骨格（経営指針）を作成する大切さを学べた事が本当に良かったということです。これからも会を通じて、様々な方に学ばせていただきたいと締めくくられていました。

士業（弁護士・税理士・司法書士・社会保険労務士等）の活用についてのグループ討議の中では、今回の報告で士業の方のことが理解出来た等の意見もあり、倉科さんも報告して良かったと言われていました。

同友会は学びの会です。今後も倉科さんと同友会の中で、共に成長できるように学んでいこうと思えた例会でした。

（文責 永吉 秀行）

北松浦支部 例会報告

日 時	7月18日(火) 18:30～20:30
会 場	平戸市多目的研修センター2階
テ ー マ	平戸班起業活性化 ～in 南部 18:30 だよ全員集合～
報 告 者	長崎県よろず支援拠点 PBコンサルティング 代表 團野 龍一 氏 中小企業診断士 松村 秀史 氏 中小企業診断士 松崎 秀宣 氏

支部長から「私自身も長崎県よろず支援拠点のご支援を受けて補助金を受給いたしました。皆様も今日はしっかりよろず支援拠点のことを理解して経営に役立てて会社を発展させましょう。」とのあいさつで7月例会は始まった。



よろず支援拠点は、4年前からあり各都道府県に一つずつある相談支援機関である。長崎県は中小企業診断士・デザイナーなど10名の各分野のスペシャリストが常駐している。特徴は、無料で成果が出るまで何度



でも支援するのが特徴である。特に売上の拡大に力を入れている。

相談内容は様々あり、売上拡大、資金繰りの相談、創業の相談、海外販路拡大、商品開発、事業計画の策定…等々。日々寄せられるこれらの経営相談・課題(約10件/日)を解決するために多種多様な分野の専門家10名が常駐している。

長崎県のよろず支援拠点は長崎市に事務所・拠点があるが、離島・遠方の企業など県内くまなく網羅するため出張相談も行っている。また、よろず支援拠点は商談会・展示会・販売会にも力を入れ、中小企業の販



路拡大・売上拡大に直接的に効果が現れるような取り組みも実施している。

事例紹介の中で営業・メディア戦略としてイベントを企画してプレスリリースを作成し、そのプレスリリースを活用してメディアにアピールする手法は大変勉強になった。

昔ながらの経営相談・評論的ではなく、綿密なターゲット・市場調査を行い、市場にマッチしたWebマーケティングを実施している。非常に実践的で先進性を感じた。

(文責 吉田 大)

五島支部 例会報告

日 時	7月19日(水) 18:30～21:00
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	尊敬し、信頼できる人が一人、またひとり ～仲間づくりは、感謝のシェア～
報 告 者	(株)広告のアクセス 代表取締役 山領 進 会員(佐世保支部)



この日は、佐世保支部より12名、浦上支部より1名の出席をいただき、支部会員12名、ゲスト1名を合わせて26名のにぎやかな例会となった。

元県仲間づくり委員長の山領さんから同友会活動を多面的に行う為には増強が必要で、誰かが本気で情熱をもって仲間づくりに取り組むことが大切という熱い言葉を聞き増強に向けての意欲が湧いてきた。



また、ゲストを誘いやすいような特別例会等を企画し、そこに参加してくださったゲストを1年間フォローアップしながら増強に繋げることなど多くのアイディアも教えていただいた。仲間づくりの根底にあるものは「この人に伝えたい」という思いで、われわれ会員一人ひとりが自信をもって誘う。またそれをそれぞれの会員でサポートすることが重要と話され、最後に8月18日を佐世保と五島の合同「増強デー」にして共にとりくみましょう、とご提案いただき会場が大いに盛り上がった。

座長の仲間づくり委員長の西山さんも、「是非今年度700名の目標を達成しましょう」と力強く語り、木訥な中にも熱い情熱が伝わってきた。

(文責 辻 千穂子)

青年経営者会 例会報告

日 時	7月20日(木) 19:00
会 場	長崎出島インキュベータ D-FLAG
テ ー マ	新入会員さんいらっしゃい ～私たちこんな仕事しています～
報 告 者	(有)エム・オー 取締役 小川 久郎 会員 (株)オオクラ 専務取締役 辻村 崇 会員 メットライフ生命保険(株) 田中 健一 会員 リーガルナビ行政書士事務所 代表行政書士 李 泳勲 会員 elieje(エリエージュ) 代表者 山口 絵理 会員



直近1年で新たに青年経営者会の仲間となった会員5名に自社のPRをしていただきました。持ち時間は10分、限られた時間のなかでそれぞれの会社の事業内容等を報告していただきました。

トップバッターの小川さんは家電販売業を営んでおり、現在の事業の内容と今後の展望をスタッフの紹介等を交えながらお話しいただきました。

2番目の辻村さんの会社は建材の卸、販売業であり、取扱っている商品が他社であまり扱っていないことや、現在の業種以外での新事業を模索していること等をお話しされました。



生命保険業をしている田中さんには保険の基本的な知識を我々素人にもわかりやすく説明していただきました。

行政書士業をしている李さんは、本業の行政書士業ではなく、今秋新しく立ち上げる事業（貸オフィス業）について報告していただきました。

大トリは紅一点のエステティック業を営んでいる山口さんで、店舗、事業内容の紹介をしていただきました。また、同友会の経営理念作成セミナーで勉強して自社の経営理念を作成したことも話されました。

それぞれの報告の後に5分ずつ質問の時間を設けたのですが、すべての報告者が出席者から質問攻めにあい、予定の時間をオーバーしてしまうほどに盛り上がりました。

出席者からは「普段会っていないながらも、具体的にどんな仕事をしているのかよく知らない人もいたので、知ることができてよかった」といった感想が出ていました。

例会後の懇親会も出席者全員の参加で、従来の会員と新会員との交流が深められた例会となりました。

(文責 北川 亮)

中同協 第1回 幹事会 参加報告

開催日時：7月7日(金) 13:00 会場：名古屋国際会議場

6日の中同協 定時総会の午後から名古屋入りして分科会報告を終え、翌7日の午前中の全体会も終えて、午後に幹事会が始まりました。2年前迄は30分で新役員の紹介や全国行事の確認と報告事項がなされていました。それが昨年では2時間となり、役員の心得という問題提起がなされ、今年は3時間になり新年度役員発表と各議題の審議で1時間、更には中同協幹事（代表理事）としての役割の確認と決意と題して広浜新会長からの問題提起とグループ討論が2時間みっちりありました。

そこで学んだのが、①課題として同友会理念の体

現があるが、優先すべきは中同協の総会議案集を読み込むこと。②同友会は地域の産学官金の中核となってまとめ役になる。③1979年に決められた、幹事会で話し合う事を各地の同友会で予備討議をして参加し幹事会の結論を各地理事会で協議し実践する。もし協議して出来ないと決めたら中同協へ理由を知らせると共に次回の幹事会で再度協議する。ということでした。

(文責 代表理事 松尾 慶一)

九州・沖縄ブロック 代表理事・事務局長の研修交流会 参加報告

開催日：7月27・28日（木・金） 会場：ホテルクリオコート博多

代表理事 松尾 慶一

4月に長崎同友会の定時総会を開催したと思ったら、5月には鹿児島同友会の定時総会で記念講演をして参りまして、その後すぐに大村で中同協役員研修会。6月は衆議院議員会館で中小企業憲章・振興条例キックオフ会議と中同協幹事会、7月には中同協の定時総会（愛知）と、これから報告します1泊2日の福岡での研修交流会でした。本当に次から次へと重要な行事が続きます。同友会活動が活発になればなる程に盛会になっています。8月は佐世保で理事会と理事懇談会も開催され、18日は佐世保支部・五島支部合同仲間づくりデーです。9月9日（土）に役員研修会を100名規模で開催します。我こそはと思う方、大歓迎です。お待ちしております。

さて、本題の報告事項ですが、初めての試みで行わ

れたのですが非常に得るものが大きかったです。2つ挙げます。

1つは、不離一体シートの作成と報告。これは、長崎でも必ず取り入れて参ります。まず、三役会で各自が不離一体シートを作り自社の実情を報告しフィードバックします。それを次は理事会へ落とし込んで行き、理事全員に体験していただきます。それを、支部の役員会や委員会にも活用していただきます。それによって、会員同士が本当に互いを理解し援け合い支え合って行けると信じています。2つ目は広報誌DOYOUニュース21の活用です。これまでの内容に加えて、総会等でご案内をさせていただいているご来賓の方々からご挨拶や情報をいただき、掲載する事で互いの距離を近くして行きたいと思いましたので、併せてご理解とご協力をお願いいたします。

副代表理事 金井 政春

中同協副会長 中村さん（福岡同友会）の提案により初めて開催されました、九州・沖縄ブロック代表理事・事務局長研修交流会に参加して参りました。8県同友会から26名、中同協より3名、報告者として愛知より2名の計31名での開催でした。

開催主旨は①各県代表役員と事務局長で、九州・沖縄ブロックの運動を展望し、進むべき方向を確認する場とする。②代表役員の役割と姿勢を確認し、事務局づくりを含めた運動のグランドデザインを描く。③会員増強の取り組みを強化し、2019年中同協5万名、九州沖縄ブロック1万名達成のための意志統一の場とする。

以上のような主旨を踏まえ愛知同友会会長 加藤さんより「企業経営と同友会運動は不離一体」～経営者として、社員と真摯に向き合っていますか～のテーマで問題提起がありました。

加藤さんは会社発展の出発点は「社員との信頼関係」を築くこと、会社の方向性を決める決定権は社長が

もっている、どんな困難があっても社員や経済環境のせいにせず「責任をとる覚悟」が「経営者の責任」であることをしっかり認識して経営にあたるべきである。社員に対しては社長の考えを押し付けることなく社員が主体的に仕事に取り組む環境整備に努める。「君ならどうする」と意見を求めこちらから答えは出さない。「育てるものでなく、育つ状態の風土を作る」。その他当然の如く「社員はもっとも信頼できるパートナー」との考えをもって共に育つ関係づくりが大切であり、会社の発展は社員の成長とイコールだと報告されました。また、人材育成ができない会社には未来はない。人材育成こそ財産である。その為には経営指針を浸透させていくことが「最大の共育」ですと話され同友会の多くの文献を活用し学ぶことの必要性を感じました。

努力もしないで「学び」を深めることは出来ないとの言葉が胸に刺さったまま帰って来ました。この胸の傷が癒えるには時間が必要と思いますが粘り強い努力だけは続けたいと思います。

事務局次長 峰 圭太

九州・沖縄ブロックの代表理事と事務局長の研修交流会に参加させていただきました。中同協副会長の中村高明さんから開催趣旨説明をいただき、1日目はエイベックス（株）の会長として愛知の加藤明彦さんか

ら問題提起をいただきグループディスカッション、その後は同じく加藤さんから愛知同友会の会長（前代表理事）という立場で、また一部を専務理事の内輪さんから問題提起をいただきグループディスカッションという流れでした。

今回の開催趣旨は①代表役員の役割と任務、同友



会らしい企業づくりの先頭に立つ ②事務局を運動のパートナーとする認識を共有する ③会員増強を強化し、中同協5万名、九州・沖縄ブロック1万名を展望する、という3つです。

前半の問題提起では労使見解を学び、企業において実践してこられた加藤さんの生き様を詳細にご報告いただきました。社員をパートナーと思わず、会社が儲かれば社員は幸せになるという経営者目線での経営から、経営指針を作成し実践することで社員目線の企業

づくりへの転換、今いる社員の満足度を高め、社員が10年後の自分のビジョンを描ける企業づくりの取り組み、また社員の成長が企業の成長であり、経営指針を軸にした人材育成こそが財産とまで言い切る内容はまさに同友会理念の体現者だと思います。

後半では会員の主体的運営を実践する愛知同友会の事例を報告いただき、事務局長と正副代表理事が本音で語り合う信頼関係を構築し、運動の主体者である事務局になってほしいという学びをいただきました。また事務局員、とりわけ事務局長が学び、運動を積み上げていくことの責任を学ばせていただきました。

グループディスカッションでも各県の事例や同友会、地域づくり、増強など多岐にわたる課題を議論させていただきました。

長崎では会員による主体的運営が構築されつつあります。誰のための、何のための会なのかを常に問い、「自分ごと」として本気でとらえ事務局で働くことに責任と誇りがあることを再確認させていただきました。自分に、事務局にできること、事務局にしかできないことを追求し会員企業の発展に力を入れていると思います。

経営指針実践セミナー(全8回の1回目) 開催報告

開催日：7月22日(土) 会場：つくば倶楽部

経営指針実践セミナー(全8回)の第1回目に参加しました。初めての長期のセミナーとあって参加者がどれくらい集まるか心配していましたが、県内各地より15名の参加をいただきました。ありがとうございます。

まず、経営労働委員長(宇土さん：大村支部)の挨拶から始まり、次に参加者の自己紹介。初めてお会いする方もおられ、最初はみなさん(私も)緊張していました。しかし、参加を決めた(参加に至った)理由を話し、他の人の話を聞いているうちに緊張もほぐれ笑いも飛び出すようになりました。参加に至った経緯はさまざまでしたが、共通している想いは同じでした。【今よりもよくしたい!】さあ!今日がその第一歩!最後(8回目)の発表会目指して頑張りましょう!

昨年の12月に『経営指針成文化と実践の手引き』が改定されました。新たに10年ビジョンが加わったほかにシート集も充実。セミナーはこの手引きを中心に行われました。1回目は第1章の同友会らしい「経営指針」成文化と全社実践の進め方(①経営指針はなぜ必要か ②同友会の歴史、理念から学ぶ ③中小企業の今後の展望)をじっくり読み進めていきました。

4時間の長丁場でしたが、手引きにマーカーを入れたりメモを取ったりとみなさん一生懸命でした。

最後に1回目の感想をそれぞれに述べられ、そして今後の意気込みを宣言して終了となりました。宇土さん、参加者のみなさんお疲れ様でした。2回目も頑張りましょう!

(文責 佐世保支部 前川 優也)

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約500字

●画像/歓迎します

☐掲載/情報広報委員会にて選考

☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



第3期生 第1回 新入社員フォローアップ研修 開催報告

開催日時：7月29日(土) 13:30 会場：諫早文化会館



うだるような暑さのなか、4月に入社した20名の新入社員の方々に加え、同友会会員の皆さんにご参加いただき、講師は県の共有委員長(株)マツモト 代表取締役 松本さんが務めました。

研修は、スクール形式ではなく、椅子を円形に並べて、リラックスした環境を作り、まず、新社会人としての心がけや、企業はどのような人財を求めているか、という振り返りから始まりました。そこでは、これから間違えなく訪れるであろう、AIが人間の仕事を奪っていく時代において、企業が必要とする人財になるためには、テクニカルで優秀な人材であることよりも「有益な人財」、すなわち、人格であるとか、人との繋がりを大切にする事の重要性が語られました。

その実現において、切り離せない様々な障壁やストレスに対応していくため、今回の本題でもある「メンタルマネジメント」について考えました。実際に、それぞれネガティブ、ポジティブな状況を作り出し、それが自身の心境や所作、また、周囲に与える影響を検証し、これを前提として、どう変換していくかと言



うメンタルケアを学びました。松本さんがアメリカで学ばれてきた、声を発し、体を動かし、ダンスを取り入れた手法で、障壁やストレスを自身の力で解決するための学びがあり、研修は締めくくられました。

少子高齢化に加え、長崎県においては新卒の県外流出問題を起因として労働力不足が叫ばれ就職売り手市場になっています。このような状況下で、社員に根性論でストレスを乗り越える忍耐力を求めることは、離職にも繋がりがかねないうえに、ハラスメントの対象になることも考えられます。そういった観点から、自分に降りかかる様々な問題を自ら積極的に解決させようとする、今回のような「メンタルマネジメント」の研修が、社会人としての人格形成において、その一躍を担っていただきたいと思います。

(文責 諫早支部 時 寛)



(株)佐世保福祉(佐世保支部 綿川 淳子会員) 経営計画発表会 参加報告

開催日：7月1日(土) 会場：セントラルホテル佐世保

【参加者の声】

1. (株)広告のアクセス 山領 進

明るく元気、スタッフ同士の人間関係の良好さを強く印象づけられました。

2. (株)福祉工房K's 豊福 和明

率直な感想としましては、やはり明るい会社だというのが一番でした。

3. プライアント(株) 橋口 久

(株)長崎地研・村山社長イズムの正統後継者ともいえる計画書で、計画書の中様々な叡智、テクニク、仕掛けが散りばめられていた。これが同友会の良さだと思う。

4. (有)山崎マーク 山崎 秀平

初めての発表会とは思えないほど計画書や発表がしっかりしていて驚きました。目標の一つの指標に“世

界”があるのは素敵です。

5. 村上彫刻 村上 敦子

経営理念唱和では、社員の皆様の声がそろったイキイキとした素晴らしい一体感があり、会社全体の意気込みを感じました。経営計画におきましては、しっかりとビジョンを立てられている事が素晴らしいと感動しました。

6. (株)PMC 佐藤 安司

社員の皆様が輝いていました。目標発表においても、各自が本当に目指している気持ちが伝わってきました。

7. (株)野田武一商店 野田 洋市

共に同友会経営計画策定セミナーに参加し、7月に発表をすると公言され、実行された姿に感動しました。

8. (株)フォーオールプロダクト 石丸 徹郎

社員の方々の雰囲気の良いが伝わる温かく素晴らしい発表会でした。福祉事業所としての目指す方向性が明確で、企業姿勢をしっかりと理解する事が出来ました。

9. (有)前川建材店 前川 優也

歴史的な第一歩、記念すべき第一回の経営計画発表

会の開催おめでとうございます。やるしかないを決められて、今日までたくさんの苦しみがあったでしょうが、最後に語られた「やって良かった！」この一言がすべてですね。行動力、実行力に感服いたしました。私が印象に残ったのは最初の朝礼です。普段からしっかりとされている様子をはっきりと見てとれました。緊張されていた社員の皆様もここでスイッチが入ったのではないのでしょうか！地元を元気に！地元から世界へ！頑張ってください！

(文責 佐世保支部 経営労働委員長 前川 優也)



会員活躍

長崎新聞 7月25日 五島支部 増山 勲次 会員 企業

五島市吉久木町の増山さん(21)が昨年夏に東京からUターンして開発した「鬼岳プリン」が観光客らの人気を集めている。現在限定的に販売しているが、味わたった人がインターネット上で紹介するなど、評判が口コミで広がり注目度が上昇中。島外の催事やネットでも売り出していく方針で「島の新たな特産品にしていきたい」と意気込む。

増山さんは同市立福江中から長崎市の高校へ進学。卒業後、パティシエなどを養成する専門学校に通ったが「地元で何かおいしいものをつくってみたい」と昨年6月に島へ戻った。

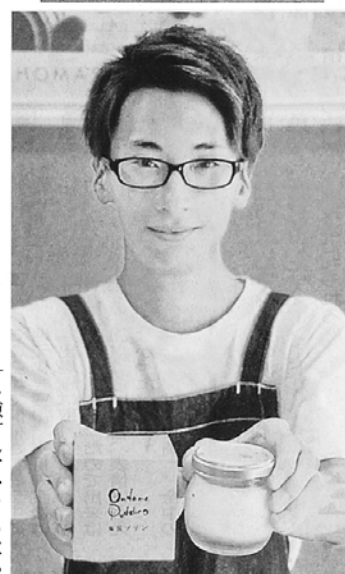
プリンを大きく左右したという有精卵をはじめ、生乳、はちみつなど原料は五島産にこだわった。帰郷後、2カ月近く試行錯誤を重ねて開発。上質な甘さで濃厚な味わいの自信の一品に仕上がった。包装も上品なデザイン。島のシンボル「鬼岳」を商品名に採用した。

製造は両親が営む同市吉久木町のカラオケ「グラム」に整備した調理場。同店や福江港ターミナル、長崎、佐世保両市の一部店舗などで販売している。1個90円で約400円(売り場によつて異なる)とやや高めだが、ネットでは「驚きのプリン」などと高評価が相次いだ。予想以上の反響に増山さんも「びっくりしている」と笑顔をみせる。

今後は専用サイトの開設

増山さん Uターンし販売 五島

鬼岳プリン 人気上昇中



「鬼岳プリン」を開発した増山さん
＝五島市吉久木町

も検討して、さらなる販売拡大を目指す。増山さんは「知名度をどんどん高め、五島らしいほかの商品開発にも挑戦したい」と話している。

(石田慶介)

事務局企業訪問

今回は諫早支部総務委員長として活躍されています、たなか司法書士行政書士事務所 田中 幸実さんにお話を伺いました。



たなか司法書士行政書士事務所は2011年に司法書士の田中さんが行政書士の資格を持つお父様と共に開業。業務内容は・不動産登記手続 ・商業・法人登記手続 ・相続・遺言・成年後見手続 ・裁判所関係業務 ・官公署への申請・届出・在留資格手続・永住・帰化手続などですが、司法書士としての業務をメインで行っています。

(行政書士と司法書士の業務は両方とも法律に則った書類作成をする仕事ですが、司法書士は法務局や裁判所が主な書類の提出先となり登記や供託の手続きを行います。行政書士は上記以外の官公署に提出する書類の作成などを行います。)

今回の企業訪問で司法書士として中小企業の経営者に向けたアドバイスを2ついただきました。

1つめは、司法書士業は自由報酬のため、依頼をする際はあい見積もりをおすすめするという事です。

2つめは、会社の憲法と言われる定款を必ず会社で保管しておき、定款に沿った会社運営を行い、商業登記手続を忘れずに行ってくださいということです。適切に登記手続を行われないと、登記懈怠や選任懈怠によって、100万円以下の過料に処せられることがあるということです。

<独立するまで>

田中さんは諫早市で生まれ育ち、神戸の大学の法学部に進学します。法学部ということで周りは司法試験や公務員試験のため、就職活動をする雰囲気はありませんでした。そんな時に夫婦で司法書士業をされる親戚がおり、女性が活躍する姿に憧れ、司法書士の道を志します。そして大学卒業後は諫早に戻り、アルバイトをしながら司法書士の資格取得の勉強に励みます。



その後見事に司法書士試験に合格。1年半の研修を兼ねた勤務の後に地元の諫早で司法書士事務所を開業することになりました。

独立後は債務整理の仕事も多く、また金融機関に勤める友人からの仕事の紹介もあり順調な立ち上がりだったそうが、現在は債務整理の仕事も減り、業務の幅を広げることが課題ということでした。

<同友会に入会して>

誘われるまま深く考えることなく、同友会の入会を決めたという田中さんですが、司法書士事務所に1年半勤めてすぐに独立したこともあり、同友会活動の全てが学びになると語られました。また、同じ会員の方から良くアドバイスをいただくということで、「もっと大きい声でしゃべったほうがいいよ」といったことから、お客さんを繋ぎとめる方法をレクチャーしていただくなど、諫早支部の会員の方から気に留めてもらえることが非常にありがたく、一人で経営していればそういった助言をもらえることもないのでとても感謝しているということでした。

そして日々学ぶなかで一番変わったことは、経営者としての自覚ができたということでした。これからはさらに自分自身ができる業務の幅を広げることで業務量を増やし、雇用につなげていきたい。そのためには司法書士としての専門的なことはもちろんのこと、経営者として学び続けたいと語る田中さんでした。

ご自身ではなんとなく司法書士の道を目指したのですよと企業訪問の最初に語られていましたが、資格を取るために決して短くない年月を諦めずに勉強し続け、また独立されてからも謙虚にコツコツと学びを深め続ける一面を知ることができました。

お話しの途中で趣味の登山について話が脱線する場面がありましたが、お話しを終えて振り返ると、諦めずにコツコツと継続する姿勢は趣味の登山に通ずるところがあるのではと感じました。いつか登山をご一緒させてくださいね。

これからの田中さんの活躍を祈念いたします。

<企業概要>

たなか司法書士行政書士事務所

住所：〒854-0071 長崎県諫早市永昌東町17-20

TEL：0957-47-9935 FAX：0957-47-9933

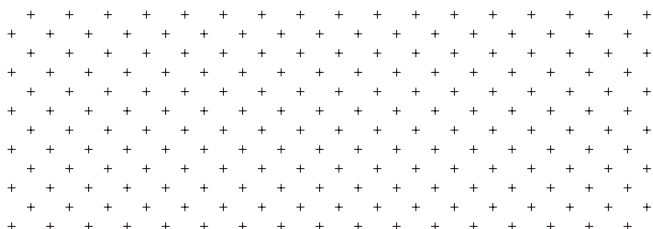
(文責 事務局 田口 友廣)

新入会員の皆さんです＜7月入会・復会＞

<入 会>

支 部 名	長崎浦上支部			
氏 名	たちかわ ひでき 立川 秀樹			
企 業 名	メンズヘア エスプリ			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒852-8061 長崎市滑石3丁目25-16			
T E L	095-555-0869	F A X		
業 種	理容業			
企 業 P R	化学薬品のパーマ液を一切使わないで頭皮と環境に安心・安全な水だけでパーマを掛ける全く新しい当店だけのオリジナル新技術を全国の理美容師さんに知っていただきたいと思っています。 Facebook：Hideki Tachikawa			
スポンサー	辻原 隆			

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	なかがわ きょうへい 中川 恭兵			
企 業 名	パーソナルトレーニングジム タトラボ			
役 職 名	統括トレーナー (共同経営者)			
企 業 住 所	〒851-2127 西彼杵郡長与町高田郷47 スポーツメディカルビル3F			
T E L	095-856-7744	F A X	095-865-7744	
業 種	パーソナルトレーニングジム			
企 業 P R	タトラボでは、①ダイエット ②アンチエイジング ③スポーツ競技力向上 ④健康維持・増進 ⑤発育・成長の促進 ⑥衰えた体力の回復・促進の様なオリジナルプログラムを作成し、指導いたします。			
スポンサー	庄司 博昭			



支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	レイガー裕美 ひろみ			
企 業 名	プレイデイ・イングリッシュ			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒850-0017 長崎市新大工町2-23 エムラビル1・2F			
T E L	095-822-5608	F A X	095-822-5608	
業 種	英会話スクール			
企 業 P R	英会話をもっと身近に感じられるスクールを目指しています。			
スポンサー	同友会事務局			

支 部 名	大村支部			
氏 名	とりやま てつろう 鳥山 哲郎			
企 業 名	ミュージックバー TORI-K			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒 856-0832 大村市本町 436-6			
T E L	0957-40-0141	F A X		
業 種	飲食業			
企 業 P R	色んな形で音楽を聴き、語り、楽しめるお店です。お酒だけでなく、フードメニューも充実しています。どうぞ気軽にお立ち寄りください。「青春の忘れ物」がここで見つかりますよ。			
スポンサー	野島 敏史			

支 部 名	島原支部			
氏 名	神崎 光博 かんざき みつひろ			
企 業 名	(有)白洋社			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒859-2204 南島原市有家町蒲河346-1			
T E L	0957-82-2432	F A X	0957-82-2433	
業 種	クリーニング業			
企 業 P R	クリーニング業界の常識を洗い「挑む」挑戦していく。目指すは、地域のクリーニング業界で「No.1」。			
スポンサー	北尾 新			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	おがわ ゆうや 小川 憂也			
企 業 名	(有)ワールドプラザ			
役 職 名	次長			
企 業 住 所	〒859-6305 佐世保市吉井町直谷1226-19			
T E L	0956-41-2882	F A X	0956-41-2878	
業 種	土産品卸売			
企 業 P R	観光土産品やオリジナルグッズの企画・卸売をしています。			
スポンサー	川上 利夫			

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	わたなべ たけし 渡邊 毅		
企 業 名	(株)西海福祉の森		
役 職 名	経営企画室 室長		
企 業 住 所	〒859-6125 佐世保市江迎町三浦10-7		
T E L	0956-65-3175	F A X	0956-65-3170
業 種	障がい者就労支援事業		
企 業 P R	弊社は、障がいのある方の就労を支援する施設を展開いたしております。関連の社団法人と合わせて、ご利用者様定員115名、通所による日中活動を行っています。農業や貝類養殖、乾燥野菜の製造販売、工場から受託の部品組み立てなど、さまざまな作業を通して、訓練を積み、社会に自立していけるよう、お一人お一人に対し、必要な支援を行います。職員一丸となって、「人が集う居場所作り」を進め、ご利用者様の福祉の増進に貢献したいと思っております。		
スポンサー	宮田 京子		

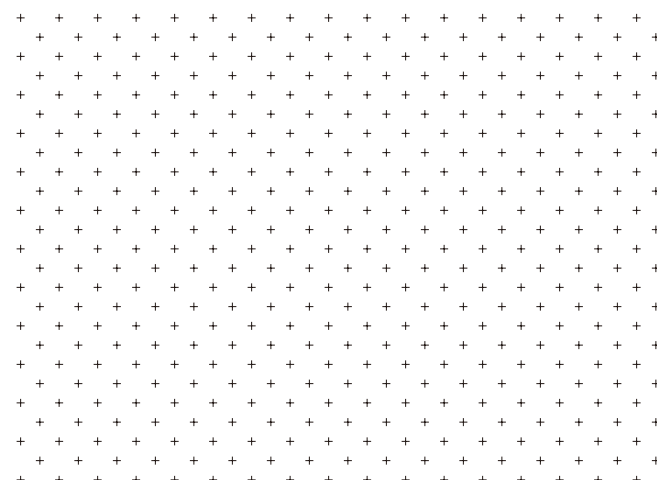


< 復会 (交代を伴う) >

支 部 名	諫早支部		
氏 名	のがた こうへい 野方 康平		
企 業 名	(株)富建		
役 職 名	総務部 部長		
企 業 住 所	〒856-0806 大村市富の原1-1545-1		
T E L	0957-53-2145	F A X	0957-54-5071
業 種	建築資材卸売業		
企 業 P R	「住環境の向上と創造に貢献する」という企業使命感のもと、地域の工務店様に対して建築に係わる資材・機器・木材・サッシ・瓦・太陽光システム、木材プレカット等の供給と工事を行なっている創業107年の会社です。		
スポンサー	富永 栄一郎		



支 部 名	五島支部		
氏 名	うらかみ すみと 浦上 純人		
企 業 名	(同)アーケデザインオフィス		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒853-0064 五島市三尾野3-6-7 アクティヴビル2F		
T E L	0959-88-9282	F A X	0959-88-9282
業 種	CGメディア・広告制作		
企 業 P R	地元発展の為に島内・島外向けの雑誌・広告作成や、まちづくりの為に建築CGパース制作、図面制作を主業としております。		
前 会 員	勝本 政裕		



長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会が開催されます!!
2019年2月(予定)開催まで

あと

18

ヶ月!!

V・ファーレン長崎



応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000

9月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部・長崎出島支部合同例会

日 時 9月27日(水) 18:30～20:30
会 場 サンプリエール
テ ー マ 「これからの長崎を見据えて」
～中小企業の連携で地域の活性化を～
報 告 者 長崎市長
田上 富久 氏

長崎市長 田上富久氏をお招きし、今後の長崎の進むべき方向性、これからの課題をお話ししていただきます。また、事前アンケートにて募集した「長崎市への要望、田上市長に聞きたいこと等」に対してご回答いただきます。

●大村支部

日 時 9月21日(木) 18:30～21:15
会 場 長崎インターナショナルホテル
テ ー マ 仮題『同友会活動と自社経営は不離一体』
報 告 者 村上彫刻 副代表
村上 敦子 会員(佐世保支部)

個人事業として家族で営む中、創業50周年を迎えた村上彫刻。しかし既存の取引先に依存した経営形態に甘え、マネジメントや新しい取り組みを怠っていた事により、経営環境も厳しさを増すばかりでした。【このまま行けば数年後には村上彫刻はないよね…】そんな中、学びを得るため同友会に入会し、多くの事を学んだ2年間。創業49年目にして初めて出来た羅針盤、入会半年後に開催した第1回経営計画発表会、計画書に基づいた新しい分野へのチャレンジ、そして第2回経営計画発表会…。同友会での学びを実践し、代表であるご主人と一緒に駆け抜けた2年間で経営形態も大きく変わりました。同友会の先輩方からの学び、気づき、失敗談等ありのままにご報告いただきます。

●諫早支部

日 時 9月20日(水) 17:30～20:00
会 場 長崎ウエスレヤン大学
テ ー マ 建設業を知る
～若者の建設業離れが深刻～
報 告 者 (株)豊恒 常務取締役
川野 雄輔 会員

建設業とインフラ整備と仕組み、及び長崎県の公共事業を題材として、ものづくりの楽しさを知ってもらい、若手人材不足といわれる建設業界に興味をもってもらう。

●島原支部

日 時 9月28日(木) 19:00～21:00
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ ー マ (仮)これからのリーダーに必要なこととは？
～日本人の心に学ぶ～
報 告 者 (株)マツモト 代表取締役
松本 一孝 会員(県共育委員長・長崎浦上支部)

現代の日本人が忘れつつある王道の経営について学んでいただきます。我々は、これからAIが発達しいろいろな仕事が淘汰されると考えられる時代にいます。強い企業を目指すために、リーダーとして絶対に必要なことを学べる例会になります。

●佐世保支部

日 時 9月22日(金) 18:00～20:00
会 場 陶農レストラン清旬の郷
テ ー マ 「業種を超越した仕事をする。」
～パッケージメーカーの挑戦～
報 告 者 (株)岩寄紙器 代表取締役
岩寄 大貴 会員

うつわの街として知られる波佐見町に半世紀前に創業した岩寄紙器。陶磁器出荷用の段ボールを主力商品としていましたが、10年前、陶磁器全般の出荷量が減り注文が減少するという苦境にあえいでいました。そんな中、会社を継いだ3代目の岩寄さんが活路を見出したのが「貼箱」。形や色、用途が様々な貼箱を作り始めたところ状況が一変、「ゴディバ」の箱にも採用され、「世界の志ある小売業TOP20」にも選出と、売上倍増となりました。岩寄さんの次なる挑戦は「脱・脇役!」。「開ける喜び」を世界へ届けようとする夢と目標が溢れる岩寄さんにご報告いただきます。

●北松浦支部

日 時 9月20日(水) 18:30～20:45
会 場 サンパーク吉井
テ ー マ 「経営指針成文化と実践の手引き」はなぜ大切なのか
～同友会の経営指針は会社の基盤を強固にする～
報 告 者 チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員
宇土 敏郎 会員(大村支部)

「経営指針ってなくてもいいんじゃない?」「経営指針があっても経営なんて変わらないもんなあ」と思っている貴方!! 今回の例会では、このたび改定された『経営指針成文化と実践の手引き』を元にその必要性和実践事例を紹介していただきます。経営指針の必要性だけでなく、同友会の特徴も知ることが出来ます。皆様、お誘い合わせの上、是非ともお越し下さいませ!

●五島支部

日 時 9月20日(水) 18:30～21:00
会 場 福江総合福祉保健センター
テ ー マ (仮)同友会との出会い、そしてこれから
報 告 者 五島トラック建設(有) 取締役
谷川 喜一 会員

同友会に入会し3年。この3年間で多くの経営者と出会い、様々なことを語り合ってきた。しかし、この恵まれた環境に存しながら自分自身は成長しているのだろうか? 学びを会社に還元できているのだろうか? 今ここで客観的に自分自身の活動を振り返り、そして未来のために自分や会社はどうあるべきなのか見つけ直します。

●青年経営者会

日 時 9月26日(火) 19:00～21:00
会 場 未定
内 容 未定

8月理事会 議事録 抜粋

8月3日(木) 16:00～18:20 カフェパキューブ(佐世保) 出席 17名 欠席 6名

開会挨拶-松尾代表理事

先月末、初めての九州・沖縄ブロック代表理事と事務局長の研修交流会が開催されました。「不離一体シート」について学んできました。まず三役会で取組めます。その後は理事会で。そして支部役員会で、さらに支部内に浸透させていただきたいと思います。会員さん同士が共に分かり合え、援け合える様に。ぜひよろしくお願いいたします。

仲間づくりについて

1)入会4名、復会2名、退会4名、交代1名、企業変更1名を承認

2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

(高瀬仲間づくり副委員長総括)

各支部、毎月目標達成に向けての取組み本当にありがとうございます。前回の委員会には五島支部からもweb参加いただきました。9月理事会承認までが第1クールです。12月理事会承認までに達成するというのが松尾代表理事の熱い思いです。今月、佐世保支部と五島支部が合同で仲間づくり増強デーを開催します。大村支部も取り組みます。来期1,000名に向けて皆様ご協力よろしくお願いいたします。

(松尾代表理事)

支部長と仲間づくり委員長の連携が重要で、支部長が要です。貯金を取り崩さない様に毎月コツコツと12月理事会承認で当期目標達成に向け、ゲストリストの活用、役割分担等よろしくお願いいたします。

協議・承認事項

1)第24回経営フォーラムについて

(前回までの決定事項)

日程：10/13(金)、会場：長崎ロイヤルチェスターホテル、記念講演者：神奈川同友会 (株)湯佐和 代表取締役 湯澤 剛氏、分科会報告者とテーマ 長崎出島支部 伊藤 弘和会員(ダイバーシティ)、佐世保支部 橋口 久会員(経営指針)、長崎浦上支部 古里 久則会員(共有)
テーマ：「『覚悟!』～自分への覚悟! 未来への覚悟! あきらめない覚悟!」
参加費5,000円

(今回確認および提案事項)

・支部別目標

浦上83、出島60、大村35、諫早32、島原30、佐世保40、北松浦12、五島8、合計300名

・チラシ案確認

※支部別目標を承認。キャラバンに協力願います。

2)2017年度役員研修会について

(前回理事会までの決定事項)

9月9日(土)第1部 研修会 13:30～17:20 第2部 懇親会 17:30～
会場：長崎新聞文化ホールアストピア

(今回提案事項)

①式次第案－山領会員の仲間づくりに関する報告を追加することを承認

②サブタイトルを「役員の覚悟」に決定

③参加費案－3,500円を承認

④動員目標案－浦上13、出島11、大村16、諫早17、島原13、佐世保11、北松浦9、五島6、合計90名を承認

3)第49回中小企業問題全国研究集会について

(前回までの決定事項)

開催日を2019年2月21・22日(木・金)とし、中同協へ提案する

(今回提案事項)

メイン会場をホテルニュー長崎にし、分科会は「分散型」になる旨を提案。理事会承認後10月の中同協幹事会で日程、会場を提案予定－承認

4)情報広報委員会からの提案について－継続審議

→情報広報委員会で再検討(例会時の告知内容も含めて)(来月理事会にて再確認し9月以降運用予定)

→各支部8月例会においては、現状通りの告知の徹底をお願いします。

5)事務局移転に伴う趣意書の件－継続審議

(三役会案)

方向性は望ましいが長崎大学だけではなく他の施設、エリア等の情報を集めた上で今後判断していく

→支部役員会で、この様な検討事項もあるという告知、並びに、意見等があれば8月28日の三役会までの提出を依頼

6)福岡同友会、大分同友会への豪雨被害に対する義援金対応について

各支部8月例会並びにe.doyuでの告知にて義援金を募り、全額を福岡同友会に送金することを決議。合わせて、No13 義援金に関する内規の追加修正を承認

報告・連絡事項

1)7月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

【例会委員長】 理事会での依頼事項 ・出席率、返信率について、e.doyuに反映している実績をもとに記録を作成いたしますので、必ずe.doyuにて返信するか事務局に連絡してe.doyuに反映してもらうよう依頼して下さい。 ・浦上と出島以外の事務費補助の予算が付いている各支部では、例会時のグループディスカッション用紙、発表用紙、質問用紙などの印刷は支部の負担をお願いいたします。また、例会に事務局が出席できない時もあるので定型の印刷物は支部でストックしておくことをお勧めいたします。
【共育委員長】 ・7月29日 第1回新入社員合同研修開催 ・20名の新入社員と5名の経営者の方に参加いただきました。今年のテーマのメンタルタフネスに必要な考え方・言葉の使い方・体の使い方をレクチャーしました。 ・全会員向け、海岸の清掃&セミナーを10月28日開催予定、場所大村
【政策委員長】 ・第9回(2017年4月から6月)景況調査実施 8月4日 長崎県産業労働部との意見交換会 長崎駅前いきいきひろば 長崎の中小企業の現在(いま)同友会景況調査の結果から平田産業労働部長と松尾代表理事の対談形式、同友会スタイルでの開催

【情報広報委員長】

・ホームページへの記事投稿について

①各支部例会報告の記事投稿を徹底する。②投稿締切を例会終了後、1週間とする。

③1週間を過ぎて投稿がない場合、事務局から各支部の情報広報委員長に投稿の催促をする。(ホームページ投稿担当が情報広報委員長と異なる場合は、情報広報委員長から担当に連絡をする)

・広報誌用報告に関して－同友会の会員に対しては「さん」、会外の方には「氏」をつけて記事を作成願います。

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)

山口委員長より、7月例会の反省(内容・出席率・返信率の確認)と8月例会内容について各支部にヒアリング

3)中同協 主要行事の紹介

7月6・7日(木・金)	第49回 定時総会/愛知/12名 報告：松尾代表理事・横田島原支部長 座長：山領元仲間づくり委員長 ・長崎出島・中村こ⑧ 山口絵⑧ ・大村・金井① 宮田⑫ ・佐世保・中村⑧ 原田④ 村上⑩ 村山⑧ ・事務局－峰⑩(記録)
8月31日・9月1日(木・金)	経営労働問題全国交流会/京都/現在4名 ・浦上－吉澤③ ・大村－宇土② ・佐世保－橋口① ・事務局－峰④
9月14・15日(木・金)	第45回 青年経営者全国交流会/茨城
10月5・6日(木・金)	組織強化・増強・拡大全国交流会/東京
10月19・20日(木・金)	第19回 障害者問題全国交流会/広島/現在2名 ・島原－永吉杏⑥ ・佐世保－橋口⑥
12月7・8日(木・金)	共同求人・社員教育活動全国交流会/島根
2月8・9日(木・金)	第48回 中小企業問題全国研究集会/兵庫/キャラバン開始

4)来期に向けて－9月理事会にて「役員選考委員」の指名・承認あり(役員選考委員会活動開始)

5)7月6・7日(木・金)中同協第49回定時総会参加報告(時間の都合上、横田支部長からのみ)

たいへん貴重な体験をさせていただきました。私が一番勉強になりました。また、幹事会也非常に勉強になりました。ありがとうございました。

6)7月7日(金)中同協第1回幹事会参加報告(時間の都合上、金井副代表からのみ)
「特別」「主体的に動く」「いかに周りを巻き込むか」という役員の役割を学びました。ありがとうございました。

7)7月10日(月)長崎県サービス産業生産性向上推進協議会参加報告(峰事務局次長)

8)7月19日(水)長崎女子短期大学キャリア講座の件(中村支部長)
長崎出島支部の西山共育委員長に学生さん向けのセミナーを開催していただきました。

9)7月22日(土)経営指針策定実践セミナー開催報告(宇土委員長)

10)7月27・28日(木・金)九州・沖縄ブロック代表理事・事務局長研修交流会参加報告

11)7月29日(土)2017年度第1回新入社員フォローアップ研修会開催報告(峰事務局次長)
20名の参加でした。残念ながら既に退職された方がいました。体を動かすワークもあり、楽しい研修でした。

12)8月1日(火)中同協情報化推進本部会議参加報告(峰事務局次長)

13)8月1日(火)長崎サミット傍聴報告(山田事務局員)

14)移住サポートセンター訪問報告(宮田委員長、峰事務局次長)

15)3ヵ月会費滞納者について－1名(理事会では氏名公表)

16)その他(9月21日 佐賀同友会西支部にて中村支部長例会報告、11月、1月福岡にて松尾代表理事報告)

※「支部長会」新設提案－馬場支部長

「支部長としての悩み解決の場として」「支部長会」の新設を提案させていただきます。開催頻度等まだ何も決めていませんが、仲間づくり目標達成のためにもぜひ承認願います。」

－承認(予算対応は、今期の活動状況を鑑み、来期より検討)

会員動向

会 員 数 (8月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	135	115	100	90	75	145	55	35	750
期首	110	87	79	72	61	124	44	25	602
現在	111	90	78	72	62	127	42	27	609

●企業住所等変更 松本 聖 会員 (佐世保支部)

新役職：代表取締役社長

退 会 者 (敬称略)

会 員 名	会 社 名	支部名	入会年月
山 口 輝 昭	(有)カーブディック長崎	長 崎 浦 上	2012年 2月
瀬 頭 信 介	(株)杵の川	諫 早	2010年11月
入 江 好 美	Ibright	島 原	2015年 3月
石 丸 み どり	エステサロン コンフィアンス	佐 世 保	2017年 1月